

都市農地活用支援センター一定期講演会 2022

ー 都市農地を支える多様な主体について考えるー

2022年10月25日(火)東京ウィメンズプラザ ホール

次第

13:15 開会・主催者あいさつ

13:25 情報提供

・「都市農地をめぐる状況」

都市局 都市計画課 課長補佐 酒井 翔平氏 (15分)…資料1

・「都市農業の推進について」

農村振興局 農村計画課 都市農業室課長補佐 今川 義英氏 (15分)…資料2

(質疑応答)

14:10 講演1

「『都市の農村化』による近代都市像の再構築

ー協同主義による「農住自給圏都市」へー」 (75分)…資料3

茨城大学 名誉教授 斎藤 義則氏

(質疑応答)

～ 休憩 ～

15:50 講演2

「事例から考える新しい都市農業・農地利用

ー空き商業施設や遊休地の農的利用ー」 (30分)…資料4

定期借地権推進協議会 運営委員長 大木 祐悟氏

(質疑応答)

16:25 閉会

※お配りしたアンケートへの回答にご協力ください

主催：一般財団法人都市農地活用支援センター

共催：定期借地権推進協議会

後援：国土交通省、農林水産省、一般社団法人全国農業協同組合中央

< 講師プロフィール >

■ 齋藤 義則(さいとう よしのり)氏

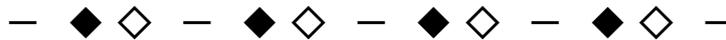
茨城大学 名誉教授

早稲田大学理工学部卒(建築学科、工学修士)。

茨城大学人文学部教授(行政計画論・都市計画論)、同大地域総合研究所所長を経て、現在同大名誉教授。専門は都市計画、地域計画。特定非営利活動法人茨城 NPO センター・コモンズ元代表。都市計画審議会会長(茨城県鹿嶋市、常陸太田市、石岡市、大洗町)、都市計画審議会委員(茨城町)、茨城県及び県内市町村の各種委員会委員長・委員歴任。

単著:『「都市の農村化」と協同主義』(有志舎、2022年)。

共著:『あづましい未来の津軽』(津軽書房、1982年、日本都市計画学会石川賞受賞)、『企業城下町日立の「リストラ」』(東信堂、1993年)、『茨城のすがお』(文真堂、1996年)、『茨城を楽しむ 30の方法』(茨城新聞社、1999年)、『原子力と地域社会』(文真堂、2009年)。



■ 大木 祐悟(おおきゆうご)氏

定期借地権推進協議会 運営委員長

早稲田大学商学部卒業。旭化成工業株式会社入社後、1993年から借地問題、集合住宅、都市農地問題、高経年マンションの再生等をはじめとする不動産コンサルティング業務に携わる。

現在は、旭化成不動産レジデンス株式会社マンション建替え研究所に所属。また、2007年から定期借地権推進協議会推進協議会運営委員長に就任、現在に至る。

著書に「定期借地権活用のすすめ」、「マンション建替えの法と実務」(共著)他。また、2022年問題については「住宅新報」で昨年4月に連載等。

